

北電カップサッカー大会地区優勝 T・ユニティFC役場に優勝報告

7月23日、北電カップ全道サッカー少年団大会室蘭地区予選で優勝し、2連覇を飾ったサッカー少年チームT・ユニティFC(平塚修司監督)の団員15名が役場を訪れ、真屋町長に、優勝の報告と全道大会への熱い決意を述べました。

國奥諒介主将は、「全員一丸となって2連覇を達成しました」と報告し、釧路で開かれる全道大会に向けて「優勝めざしてがんばってきます」と力強く誓いました。

8月3日から6日まで釧路市で行われた全道大会では、

残念ながら予選リーグ突破はなりませんでした。



地区優勝を報告するT・ユニティFCのイレブン

7月26日、福島第1原発事故の影響を避けて、夏休みを当町で過ごしている親子を



おいしい北海道の味を満喫し表情も明るい被災地の親子

歓迎する町主催のバーベキューパーティが、親子51名の参加で、洞爺湖文化センター前で開かれました。

昨年に続き、NPO法人メークザヘブンが呼びかけた「洞爺バケーション」の参加者で、町職員が特産のあか毛和牛、地元米のおにぎり、地場産野菜が入った焼きそばなどを振る舞いました。

参加した母親は「放射線のことを一切気にしなくてもよいので、それだけでも気が休まる」と明るい表情で話していました。8月9日も第2陣の参加者を対象とした歓迎昼食会を開きました。

被災地の親子夏休みで来町 バーベキューで歓迎



羊の毛を使ったフェルトの講習会

7月29日、第2回洞爺湖芸術館まつり(同館友の会主催)が、同館で開かれ、来館者がピエンナーレ特別

展やフェルトのワークショップ、湖畔での野だてなどを楽しみました。昨年初めて友の会が、芸術館を生かした洞爺地区の活性化を狙って企画。

今回も館内を無料開放し、1993~2007年に開かれた「洞爺村国際彫刻ピエンナーレ展」全8回の大賞と準大賞作品を初めて一挙に紹介するピエンナーレ特別展のほか、倶知安のフェルト作家林幸子さんのワークショップや和三盆によるミニコンサートなどが開かれ、三樹園では、友の会メンバーが野だてを行い、来館者をもてなしました。

芸術・文化にふれる 芸術館まつり開催

戦没者追悼式 永遠の平和を誓う

平成24年度の虻田地区戦没者追悼式が、8月3日、約50人の遺族ら関係者が参列し、青葉忠魂碑前で行われました。

式典では、全員の黙とうが行われた後、真屋町長が「謹んで追悼の誠を捧げます。平和と繁栄が末永く続きますようご祈念申し上げます」と式辞を述べました。

引続き、北海道知事、洞爺湖町議会議長、北海道連合遺族会、洞爺湖町遺族会長が、戦没者に追悼の言葉を述べ、参列者全員が、菊の花を捧げて冥福を祈りました。



白い菊を捧げる遺族の皆さん

洞爺地区でも、7月29日同追悼式が忠魂碑前で行われ、同様に戦没者の冥福を祈りました。

まちのわだい

